

(有)信成開発

環 境 行 動 計 画

平成2008年7月10日

取 組 方 針

(有)信成開発は、企業理念である『世の中に必要不可欠な企業となる』を
実践する為に、地球を破壊し続けてきた現実を率直に受け止め、今 私達に
出来る事を全社員が一丸となり方針計画を立て、継続できる取り組みを実施
していく事を認識し、取り組んでいくものであります。
主な活動計画方針を下記の通り行ってまいります。

- ① 化石燃料使用量の低減。
- ② 事務書類のペーパーレスに取り組む。
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底
- ④ 地域と一体となったボランティア活動の運営
- ⑤ 残資材の少量化に取り組む。

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組む
ために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知しま
す。

平成20年7月10日

(有)信成開発

代表取締役 鈴木 浩史

3 環境負荷の低減目標

平成 20 年度に向けての環境負荷の低減目標は、年間目標とし、半期毎のチェックと見直しを行います。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成 19 年度です。)

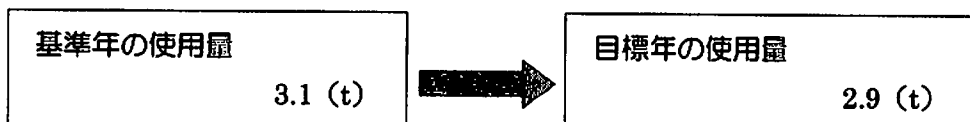
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 10%削減する



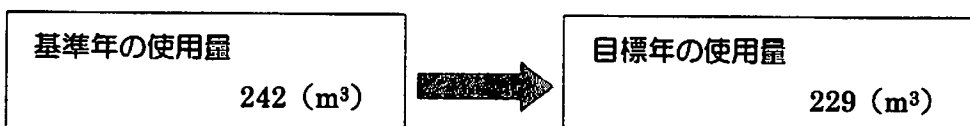
【目標 2】 産業廃棄物の排出量を 12%削減する



【目標 3】 コピー用紙の使用量を 5%削減する



【目標 4】 水使用量を 5%削減する



【目標 5】 整理整頓、管理表を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

(事務所)

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ・ コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する
- ・ 冬期間は、竹のバイオマスエネルギーの活用を実施する。
- ・ 自然エネルギー(太陽パネル、風力)等の活用を実施していく。
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

(現場での取組)

- ・ 昼休み、休憩時間の使用機械のエンジンは確実に止める。
- ・ 使用機械は排ガス適合機種を選定する。
- ・ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減
(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を徹底し、保管場所を確保する。
- ・ 現場から出る廃材の木材、金属くずは全てリサイクルする
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ コンクリート型枠材は極力整備に努め最低、5回以上使用する事とし廃棄せずに、リサイクルする事
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 生ごみをコンポストで堆肥化し敷地内の植栽に使用する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 危険物・洗浄剤の安全管理

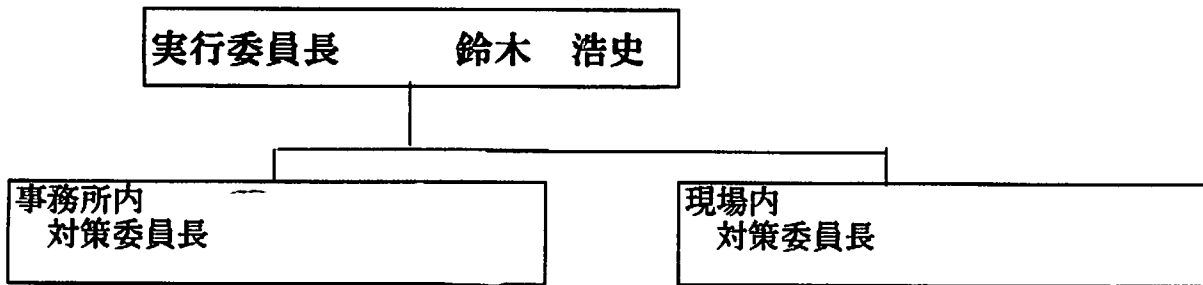
- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する
- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする
- ・ 保管庫からの危険物・洗浄剤の持ち出し量を記録する
- ・ 危険物・洗浄剤を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う

【取組6】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5, 環境行動計画の実施体制

体制は、代表取締役 鈴木 浩史を執行委員長として 下記の体制で取り組むものとする



実施取り組みの内容のチェック、目標値の確認は半期毎に行い、対策の見直しを実施し
全社、一丸となって取り組んでいく事とする。